

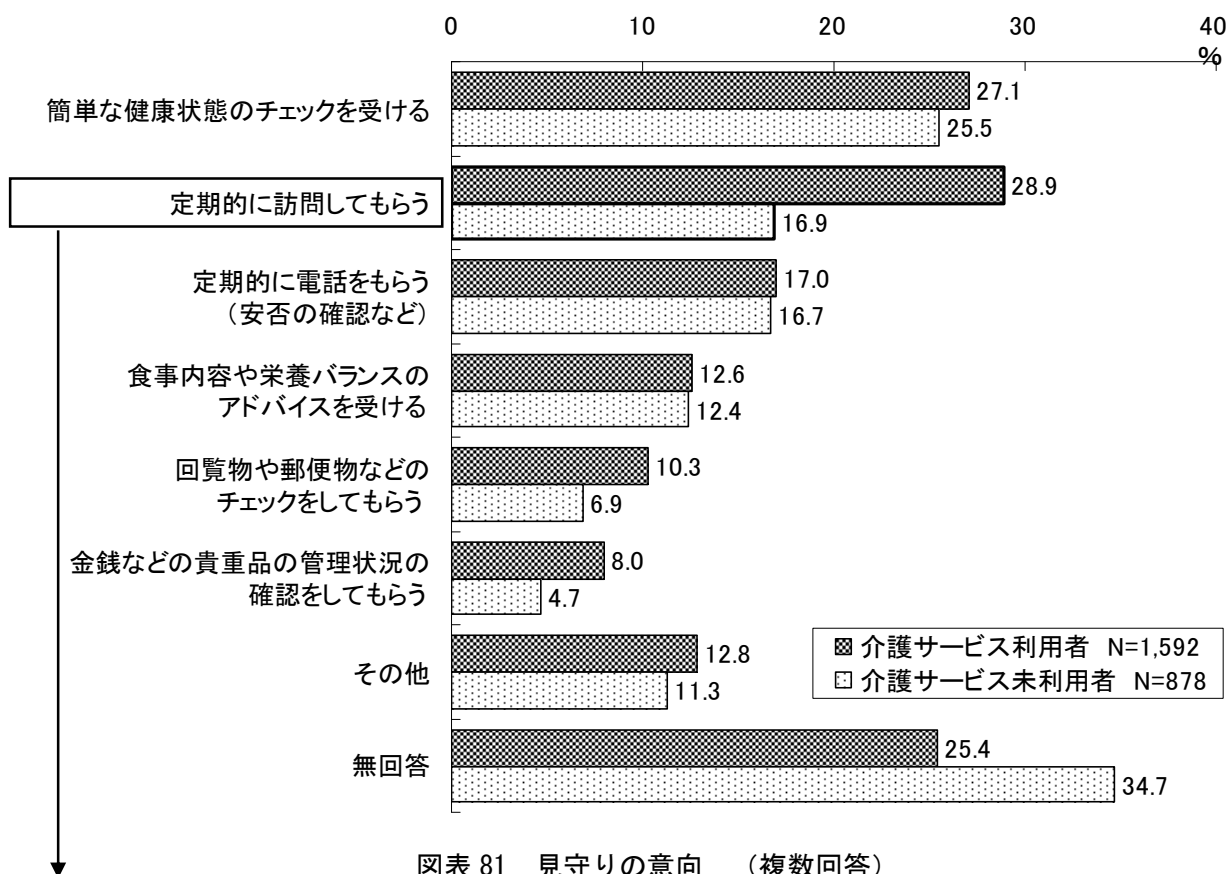
## 10. 高齢者の見守り

### (1) 見守りに対する意向

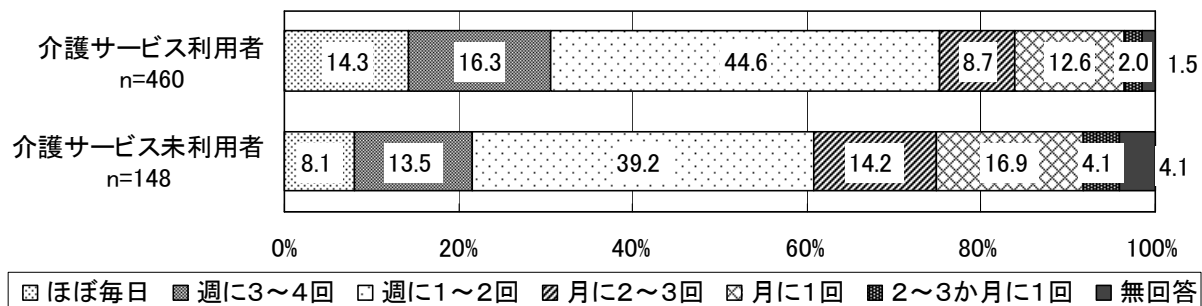
ア. 見守りに対する意向は、介護サービス未利用者よりも介護サービス利用者の方が高い割合となっている。

イ. 介護サービス利用者、介護サービス未利用者とも「簡単な健康状態のチェックを受ける」「定期的に訪問してもらう」「定期的に電話をもらう（安否の確認など）」の割合が高くなっている。

ウ. 「定期的に訪問してもらう」を希望する人が希望する頻度をみると、「週に1～2回」が最も多く、介護サービス利用者で44.6%、介護サービス未利用者で39.2%となっている。



【「定期的に訪問してもらう」訪問の頻度】

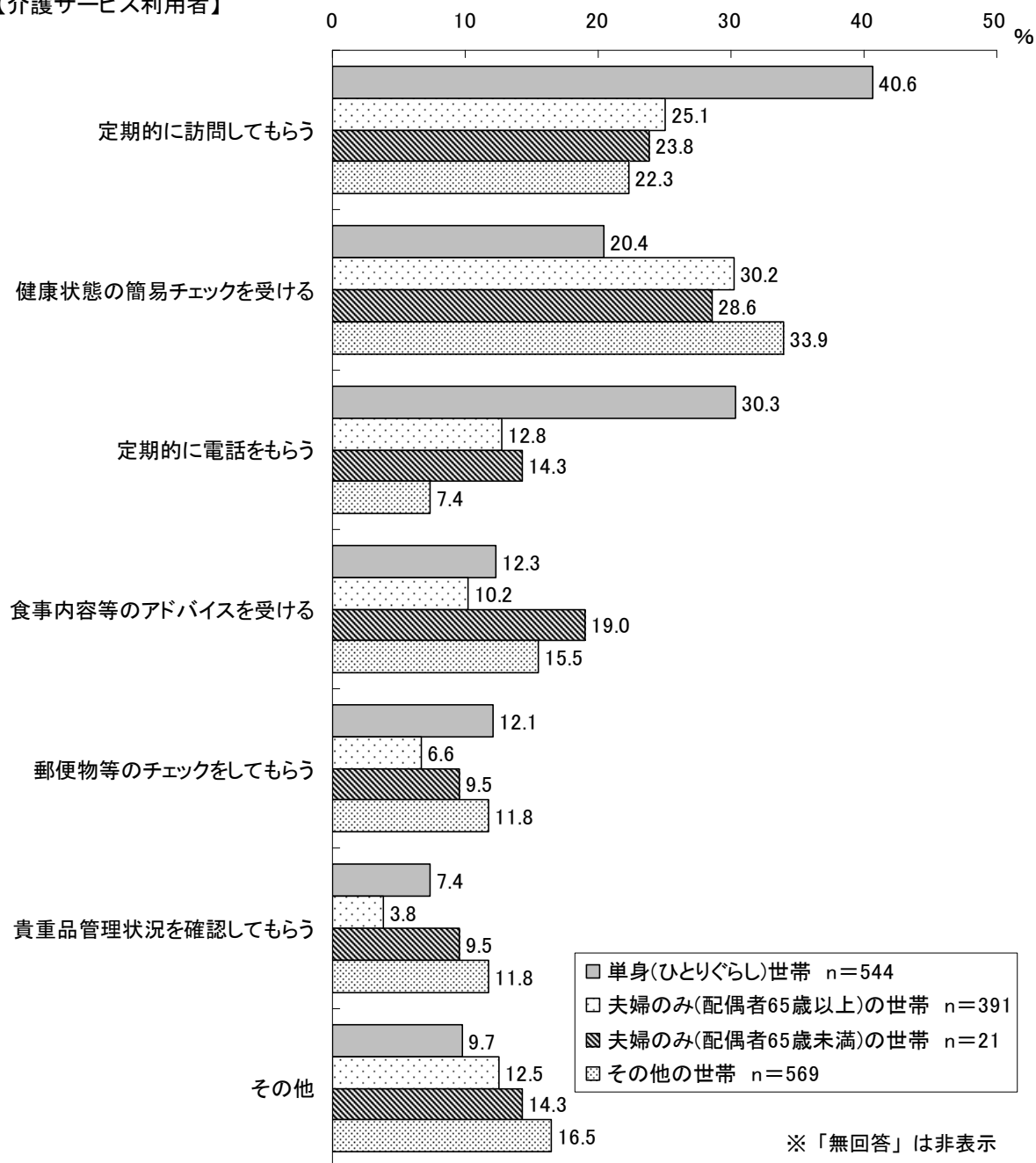


図表 82 定期訪問の頻度 (単数回答)

エ. 介護サービス利用者の見守りに対する意向を世帯類型別にみると、単身（ひとりぐらし）世帯で「定期的に訪問してもらう」「定期的に電話をもらう」の割合が高くなっている。

オ. 夫婦のみ（配偶者 65 歳以上）の世帯、その他の世帯では「健康状態の簡易チェックを受ける」の割合が高くなっている。

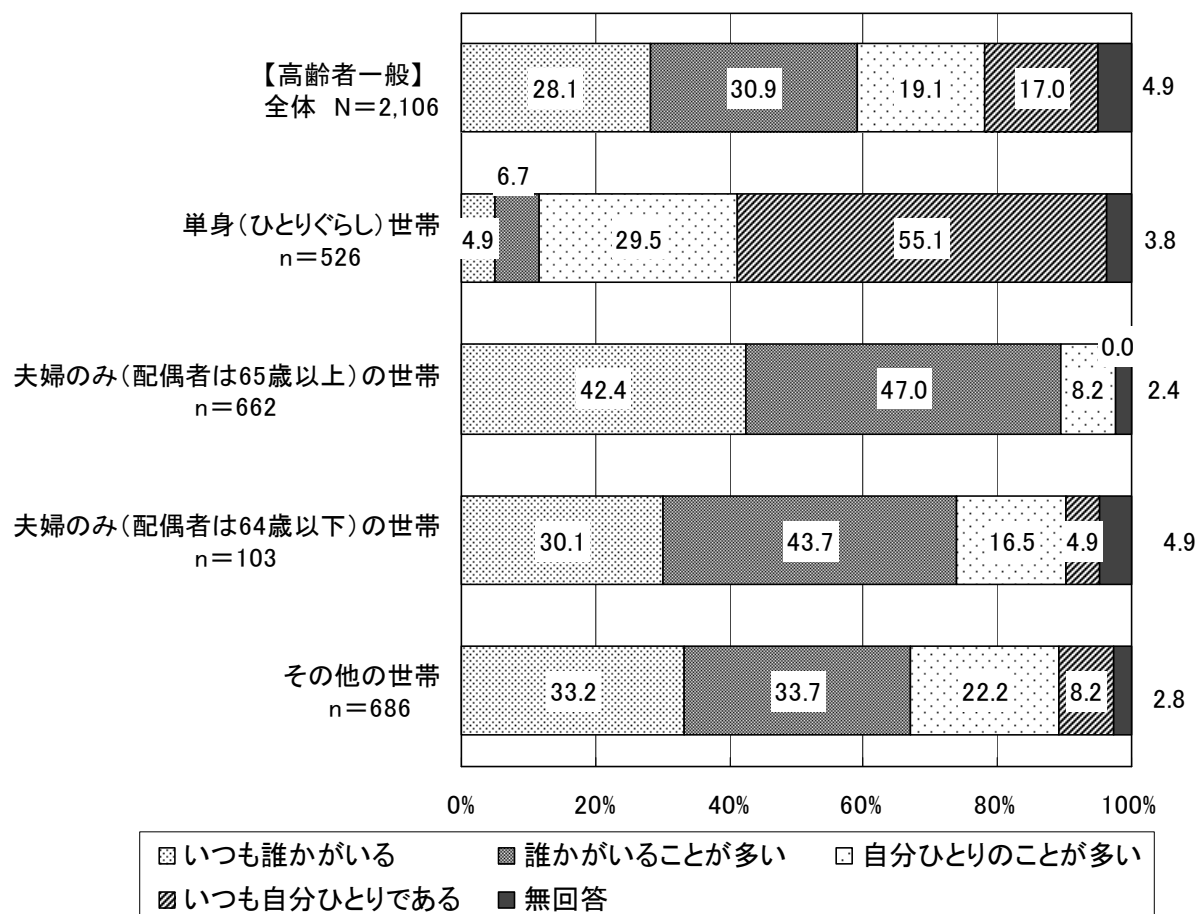
【介護サービス利用者】



図表 83 希望する見守り方法（複数回答）

## (2) 平日昼間の在宅状況

ア. 平日昼間の、単身（ひとりぐらし）世帯以外の世帯における日中独居の状況をみると、『自分ひとりで過ごしている』（「自分ひとりのことが多い」、「いつも自分ひとりである」の合計）の割合は、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」で1割弱、「夫婦のみ（配偶者は64歳以下）」の世帯」で2割強、「その他の世帯」では3割強となっている。

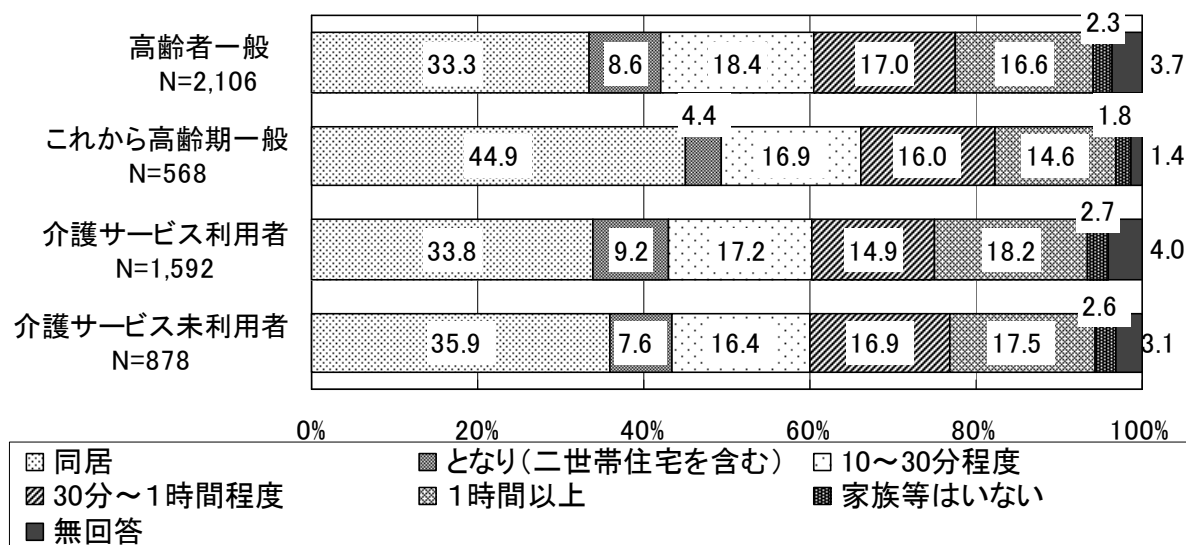


図表 84 平日昼間の在宅者（単数回答）

### (3) 緊急時に連絡できる家族等との距離・会う頻度

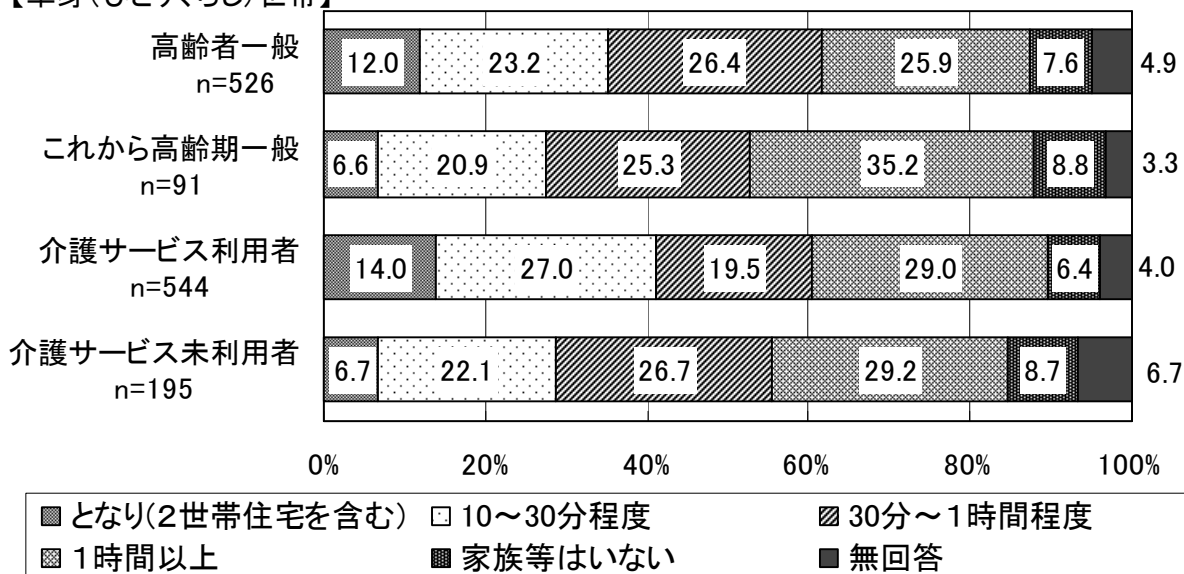
ア. 緊急時に連絡できる家族等との距離は、いずれの調査も『1時間以内』（「同居」、「となり」「10～30分程度」「30分～1時間程度」の合計）の割合が8割程度となっている。

イ. 単身（ひとりぐらし）世帯で『30分以内に住む家族等はいない』（「30分～1時間程度」、「1時間以上」、「家族等はいない」の合計）と回答する割合をみると、高齢者一般で約6割、これから高齢期一般で7割弱、介護サービス利用者で5割強、介護サービス未利用者では6割強となっている。



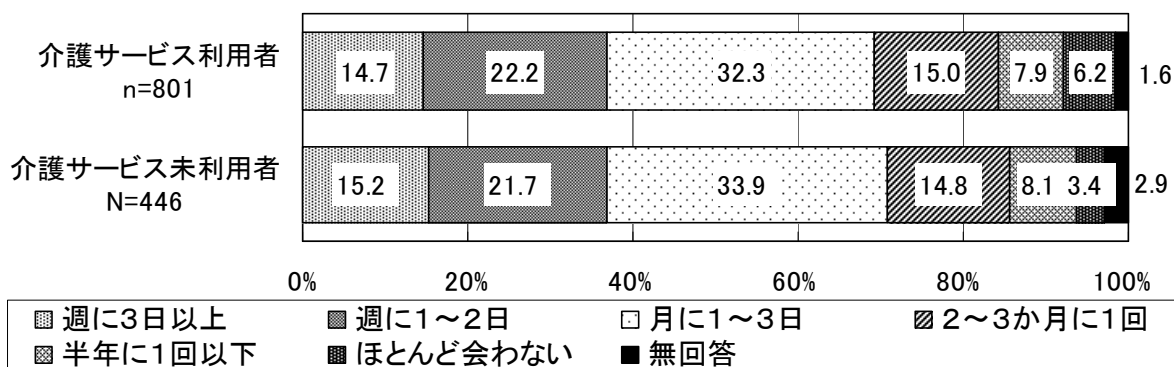
図表 85 緊急時に連絡できる家族との距離関係（単数回答）

#### 【単身（ひとりぐらし）世帯】



図表 86 緊急時に連絡できる家族との距離関係（単数回答）

ウ. 介護サービス利用者、介護サービス未利用者について、緊急時に連絡できる家族等との距離が『10分以上』（「10～30分程度」、「30分～1時間程度」、「1時間以上」の合計）と回答した方が、家族等と会う頻度をみると、『月に1回以上』（「週に3日以上」「週に1～2日」「月に1～3日」の合計）が7割程度となっている。

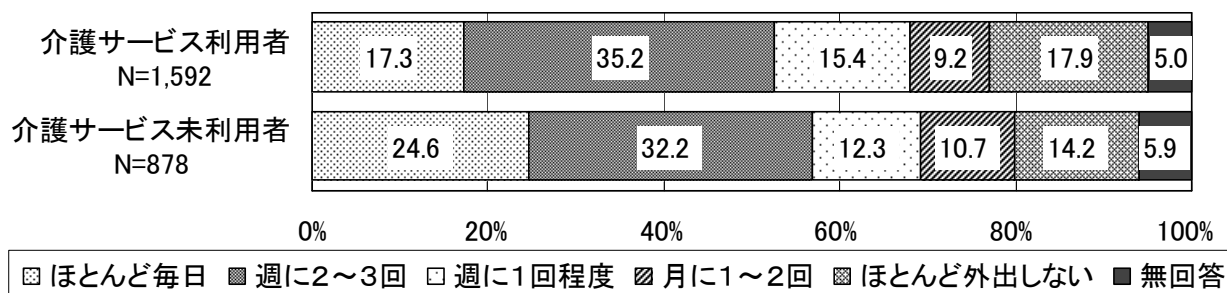


図表 87 家族等と会う頻度／10分以上についてのみ集計（単数回答）

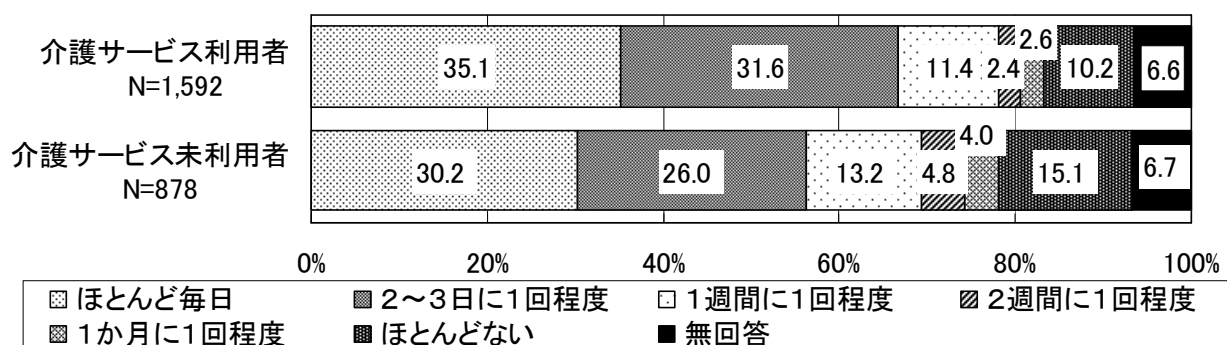
#### （４）外出・会話の頻度

ア. 外出頻度についてみると、介護サービス利用者、介護サービス未利用者とも、「ほとんど毎日」と「週に2～3回」の割合が高い。

イ. 会話の頻度は介護サービス利用者の方がやや頻度が高くなっている。



図表 88 買物、散歩、通院などを含め外出頻度（単数回答）



図表 89 会話の頻度（単数回答）